

私たちの町内会 vol.25

あけの平一丁目町内会 会員数 436世帯

会長
菅原 泰徳さん



あけの平一丁目町内会は、「会員相互の協力によって、住居者の融和・親睦を図るとともに、相互扶助の精神を醸成し、もって町内の繁栄に寄与すること」を目的として、平成元年4月に「あけの平町内会」より分離して設立され、今年で28年目を迎えました。

主な活動としては、「月ごとの一斉清掃」「敬老会」「子どもふれあい祭り」「懇親会」「研修会」等年間を通して行われています。中でも子どもふれあい祭りは、婦人部・文化部・子ども会等の協力の下、ゲーム大会や餅つき体験、その後の懇親会を行い、子どもを中心に据え、保護者や地域の高齢者も含め、「地域のふれあい」を兼ねた事業と言えます。

また、東日本大震災を機に、当町内会でも今後の災害に対応するため、食料・飲料水の備蓄や、救助・支援用の器具・機材等の確保に努めています。平成26年度には、安否確認旗および自主防災活動マニュアルを作成し、災害発生時の安否確認と活動手順・災害対策本部における役割分担とその具体的な活動内容等を定めました。毎年マニュアルに基づいて安否確認訓練を行っており、昨年実施した訓練では、会員・非会員問わず約95%の安否確認ができ、徐々にその目的や意義の理解が深まっています。

近年ライフスタイルの多様化により、参加者の固定化や停滞化、役員のなり手不足等の懸念もありますが、これからも子どもから高齢者までが楽しくふれあい、明るく安らぎを感じる地域を実現し、いざというときには、一致団結し互いに協力し合える町内会を目指していきます。